つんのーで！

佐世保市立中里中学校
学校だより　第３０号
文責　校長　川　口　貴　晴
令和７年 11 月 21 日（金）発行

【学校教育目標】　「自ら学び、考え、行動し、自ら『生きる力』を培う生徒の育成」
【めざす学校の姿】「生徒が通いたくなる学校」「保護者が子どもを通わせたくなる学校」
「地域が自慢したくなる学校」「教職員が勤めたくなる学校」
【めざす生徒の姿】「愛（合い）のある生徒」
～支え合い、学び合い、磨き合い、高め合い、励まし合い～
【めざす教師の姿】「時代・社会の要請を理解し、自らの教師力・人間力を高める教師」
【めざす授業の姿】「生徒の主体性・確かな学力・生きて働く力を育む授業」

定期テストが終わりました!

11月 17 日(月)～18 日(火)に1･2 年生は「第2回定期テスト」が行われました。本校では、各教科による章末テストや単元テスト、小テスト等と、今回のような定期テストを実施しています。どのテストも日頃の生徒の学びの定着度や理解度、そして大切な読解力や応用力、対応力等を確認するために行っています。これらのテストがとても大切なことは生徒も保護者の皆様も承知のことと思います。

さて、今回の定期テストへの取組はいかがでしたか。何日も前からしっかりとした計画を立て、やりたいことや好きなことを我慢して努力をしたでしょうか。

過去には「実力テスト」という名称のテストがあり、生徒によっては、「実力テストだから実力で受けます」と言って、テスト勉強をせずにテストに臨む強者もいました。テストは努力したことのすべてが出題されるわけでもなく、頑張ったことのすべてを発揮できるものでもありません。テスト範囲が広く、「山が外れる」ことも少なくありません。しかし、努力した成果は頭の中に残っているはずです。次のテストや課題に向き合う時に大いに役立つものだと思います。中には、あまり努力している姿を見せないのに、好結果をおさめている生徒もいます。でも、この生徒はきっと授業中に人一倍集中して臨み、一言一句もらさずにノートに書くなど、人知れず努力をしているはずだと思います。**何の努力もなしに、結果を残せる人は多くないと思いましょう。**

テストが終わった今こそ、ぜひ「**解き直し**」をしてほしいと思います。**今のテストの結果は、その時点での結果にすぎません。**多くの生徒の皆さんの最初の大きな目標は、「高校入試」であると思います。**現時点では解けない問題も高校入試当日に出来るようになれば良いのです。**そのためにも、「**現段階のテストで苦労した問題**」などをしっかりと「**解き直し**」をして、「**次に備える**」ことが重要です。「**解き直し**」を課題とされている教科もありますが、そうでない教科も「**解き直し**」に取り組んでほしいと思います。「**積み残しをしないこと**」これこそが、「**あなたの未来・将来**」に大きな影響を及ぼすのです。誰のためでもありません「**未来の自分のために解き直し**」を実践しましょう。

ご家庭でもお子様へのお声かけをお願いします。

テストは何漬けがうまい？

この文章は、令和６年度の学校だより「つんのーで！」で紹介したものです。第２回定期テストが終わった今だからこそ、改めてお伝えします。

２・３年生はもう一度現在の自分の姿を顧みるために、１年生は今後の自分の勉強に向かうあり方に結びつくように、しっかりと読んでほしいと思います。

とにかく「あれこれ考えるだけではなく、やってみること！具体的に行動してみること」が重要です！

明日と言わず今日から実行しましょう！

※前回から一部内容に加除修正しました。

テスト勉強（普段の勉強も）には、これといった決まった方法はありません。**各人が自分のスタイル（やり方）にあった勉強法が一番です。**私は、中学校入学当初は、「夜遅くまで勉強する派」でした。それは、夜遅くまで勉強して、少しの睡眠時間で翌日のテストに臨むというスタイルでした。でも、この方法は短期的な記憶には役立ちましたが、付焼刃（つけやきば：一時の間に合わせに覚えた知識。一時しのぎに習った技術）のようで、長期的な記憶（本当の知識）になっていないように感じました。そこで、中３の初め頃から「朝型派」に変えました。その後の人生を考えても、その成果は十分にあったと実感しています。**生徒のみなさんも自分のスタイルにあった勉強法を探すことも中学時代の大切なことです。**いろいろなスタイルを試して、自分にあった勉強方法、結果に結びつくやり方を見つけてほしいと願っています。今号では、いろいろな勉強方法をちょっとだけお伝えしたいと思います。参考にしてみましょう！

①**即席漬け**：一番力がつかない、その場限りの勉強のやり方です。テストの範囲は早くから連絡されているのに、「まだ６日ある」「まだ５日もある」と毎日先送りしてとうとうテスト当日に･･･。結局何もせずに、もうこうなったら逃げようがありません。万事と見るだけで、何にも理解していないままで後悔ばかりです。テスト直前に教科書やノートをパラパラしながらテスト用紙に向かっているしかありません。どうもこの「即席漬け」は味がよくなさそうです。　〈裏面に続く〉

②**浅漬け**：「明日の朝、必ず５時に起こしてよ！どうしてもやることがあるから！」とお家の人に頼んで、普段朝寝坊のＡさんが珍しく朝早く約束通りに起きました。でも頭の中は‥普段からやりつけないことを急にやったからです。『早起きは三文の得』と昔から言われていますが、それもきちんと習慣になっていて初めて言えることです。その日だけでは効果が知れています。でも「即席漬け」よりは少しだけましな味かもしれません。

「朝型派」になるには普段からです！

③**一夜漬け**：これまで、特に勉強らしい勉強もせずに、いよいよ明日からテストという日になって、その夜だけ机に向かい、テスト勉強をすることです。せっぱつまった気持ちがあるために、意外に能率があがる勉強になります。予想以上に頭にもよく入ります。勉強したあと、十分に睡眠をとればテストの時、思い出すこともできることもあります。しかし、２～３日過ぎると勉強したことを忘れてしまうことが多く、勉強本来の意味から考えるとあまりお勧めできる勉強法ではありません。「単元末テストではまあまあだけど、定期テストや実力テストが‥‥」という人は、このタイプが多いのでは？日々の積み重ねが大切です！

④**古漬け**：何といってもこれが一番です。何日も前から計画的にたっぷりと時間をかけているのでよく頭に入り、理解し、よく覚えており、自然とテストも高得点になります。テスト範囲以外の知識も豊富なので当然成績もグングンよくなっていくようです。

やっぱり普段からしっかりとした計画を立て、立派な「古漬け」になるようにしてほしいものです。

味も最高になること間違いなしです！

みんなで「古漬け勉強法」を実践しましょう！

嬉しい表彰式がありました！

１１月１７日（月）に「税の作文」で「佐世保税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞」を受賞した升水暦さんと葛城碧さんの表彰式が本校校長室でありました。

担当の方がわざわざ学校まで来校されての表彰に大変恐縮しました。担当者の方によると両生徒の作文は、自分の経験をもとにしっかりと書かれていて、内容があり読み応えのある作文に仕上がっているとのことでした。表彰前の２名の生徒は、少々緊張気味でしたが、表彰状と記念品をしっかりと受け取りました。運動面での生徒の頑張りもとても嬉しいですが、文化面での頑張りも運動面と変わらないくらいに大変嬉しいものです。２名の生徒に大きな拍手を贈りたいと思います。本当におめでとうございます！

誰もが狙われている！